その他

宮崎県　みやざき『食と農』海外輸出促進協議会
『県産農産物を東アジアへ』

【主な品目】

かんしょ、きんかん、日向夏等

【主な輸出先国・地域】

香港、シンガポール、台湾等

【輸出取組の概要】

- ◆ 海外事務所や現地コーディネーターを活用した新たな県産品輸出の開始
- ◆ 現地商社等と連携したレストランフェアやバイヤーの産地招へい
- ◆ 台湾の残留農薬基準に対応した栽培方法や輸出前残留農薬検査体制の実証

【輸出実績】（農産物の輸出実績　＊宮崎県調べ）

	輸出額(億円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	3.5	912	通年
平成27年度	2.7	758	
平成26年度	1.8	581	

見本市に県共同ブースを出展し、マッチングと商談フォローアップを支援

【取り組む際に生じた課題】

- 海外輸出向けの商品や産地（担い手）の掘り起こし
- 商流・物流の構築や商談、貿易実務の継続的な支援
- 台湾での残留農薬規制に対応した分析技術の構築

【生じた課題への対応】

- 海外事務所（香港）や現地コーディネーター（香港、シンガポール）との緊密な連携による産地支援活動
- フェア等に使用する食材をとりまとめる輸出窓口を産地商社機能として設置
- 現地調査等を通した規制情報の把握と、試験研究機関との連携

シンガポールの量販店におけるフェア開催と新たな輸出ルートの構築

【対応の結果】

- 新たな海外輸出ルートの構築のほか、かんしょ、きんかん、日向夏、茶、農産加工品等、多品目で新規成約が増加
- 台湾向け残留農薬規制に対応した産地づくりと残留農薬分析技術の開発

残留農薬分析技術を活用した輸出前検査

【今後の課題・展望】

- 輸出商品・産地を掘り起こし、マーケティングと貿易実務を支援する仕組みづくり
- 多品目混載や鮮度保持・迅速輸送のさらなる仕組みづくりと独自技術の開発
- 残留農薬分析技術の高度化と、輸出前検査によるマーケット開拓の体制づくり

【活用した支援・施策】 地方創生加速化交付金（国）、東アジア輸出パートナー連携強化事業（県）

【連絡先】 担当者名：松宮、TEL：0985-26-7847